

嘔吐

1 子どもが吐いた！

吐いたものを気管に吸い込まないようにお子さんの体を横向きにしましょう。

そして、急にムカムカして吐いたのか、咳をした後で吐いたのか、顔色が変わっていないか、吐いたものはどのようなものか、お腹が張っていないかなどを観察してください。



体を横向きにして吐いたものを吸い込まないようにする



2 吐いたらどうするの？

吐いたものに血液とか黄色や緑色の液が入っていないかなどをみましょう。

お腹をさすってみて、痛がる場所はないか、張っていないかなどをみましょう。

自宅で1回だけ浣腸をして排便させると良くなる場合がありますので、試してみてもいいですが。

お子さんが吐いた後で“キーツ”というような激しい泣き方を繰り返すようなら、急いで診察を受けましょう。

吐いたものに血液とかが入っていないか確認



激しい泣き方を繰り返すようなら急いで病院へ



痛がる場所がないか張っていないかみる

3 吐き気が止まったら

水、番茶が幼児用イオン飲料をスプーンで少しずつ飲ませてみます。吐かなければ、5～10分おきに飲ませてみます。4、5回飲ませて、吐かないようならば、朝まで待っても大丈夫でしょう。

注：オレンジなど柑橘系の飲み物や炭酸飲料、牛乳などは、吐き気を増強させますので飲ませてはいけません。



水や番茶などをスプーンで少しずつ飲ませてみる



4 吐いた後に次の症状があれば、早めに診察を受けてください

- ① 続けて何回も吐いているとき
- ② ひきつけを起こすか、意識がぼんやりしているとき
- ③ 強い頭痛を伴うとき
- ④ 出た大便に血液がついているとき
- ⑤ 尿が8時間以上出ていないとき

お子さんが吐いていても、あわてずにお子さんの様子を観察してください。ほとんどの場合にあわてる必要はありませんが、上にあげた①から⑤の項目にあてはまるときは早めに診察を受けましょう。



続けて何回も吐くわ病院へ

